

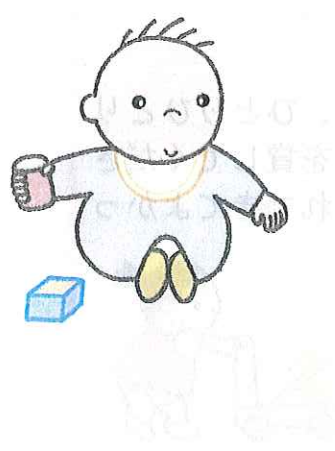
乳児院 子ども権利ノート

乳児院は、子どもが安心して生活できる場所です。乳児院では、子どもが安心して生活できるように努めています。乳児院では、子どもが安心して生活できるように努めています。

乳児院では、子どもが安心して生活できるように努めています。乳児院では、子どもが安心して生活できるように努めています。

乳児院では、子どもが安心して生活できるように努めています。乳児院では、子どもが安心して生活できるように努めています。

乳児院では、子どもが安心して生活できるように努めています。乳児院では、子どもが安心して生活できるように努めています。



神戸市乳児院連盟

乳児院 子ども権利ノート

わたしたちのお父さんとお母さんが、ある日出会い、そしてわたしたちが生まれました。

わたしたちの中には、お父さんやお母さんがわたしたちの誕生を心から待っていてくれた場合もあり、また不安と戸惑いのまま、お母さん一人きりで産んでくれた場合もあります。

わたしたちは、まだ生まれてから少ししかたっていませんが、わたしたちの中にはすでにお父さんがそばにいない子もあり、お母さんがそばにいない子もあります。

わたしたちは、お母さんが働かなければならなかったり、病気だったり、家族の人が入院したりして、どうしてもわたしたちを育てられなくなって、突然、ここに来ました。

ふつうわたしたちは、“赤ちゃん”と呼ばれ、家庭ではお父さんやお母さんに愛され、色々と助けてもらって生活しますが、ここではお父さんやお母さんから離れて、たくさんのお友だちと24時間大きな集団で生活しています。

どうか、わたしたちの真剣な生活ぶりを認めて、ひとりひとりが主人公として大きく豊かに育っていけるよう手を貸してください。わたしたちを愛してください。そして、生まれてきてよかったと思えるように温かく見守ってください。



1. わたしたちのことをわかってください

- わたしたちは、愛されたいと思っています。また、わたしだけの人を求めています。
- わたしたちは、いつも自分のことを見てほしいと思っています。
- わたしたちは、見るもの、聞くもの、ふれるもののすべてを全身で感じています。
- わたしたちは、お父さんやお母さんから離れて暮らしています。悲しくて泣いたり、さびしくて泣いたりすることがあります。
- わたしたちは、心も身体も成長している途中です。だから、あなたにとってあたり前のこともわたしたちはできません。
- わたしたちは、ことばを使ってのコミュニケーションが、まだうまくいきません。だから、わたしたちは、あなたの言うことがわからなかったり、自分のしたいことや気持ちを泣いたり、物を投げたり、噛み付いたり、手足をバタつかせたり、全身を使って表します。
- わたしたちの世界は、いつも新鮮で生き生きとしていて、驚きと感動に満ちています。わたしたちは、「いま」を生きています。だから、過去や未来のわたしたちの話をされてもわかりません。
- わたしたちは、まだ時間の流れがよくわかりません。でも、見通しを持った行動は少しずつできるようになっていきます。
- わたしたちは、失敗を繰り返しながら、新しいことができるようになります。
- わたしたちは、離れていたお父さんやお母さんと暮らし始める前に、今までできていたことができなくなったり、わざと無理をいって困らせたりします。



2. わたしたちは、あなたにお願いします

- わたしたちの肌、目、髪の色や障害のあることで偏見を持たないでください。
- わたしたちは、ひとりひとり発達のかたや性格がちがいます。ひとりひとりを見つめて、ひとりひとりに合わせてやさしく接してください。
- わたしたちを他の子と比較したり、発達を目安やあなたの子とも観と比較して、嫌がったり叱ったりしないでください。わたしたちのありのままをまるごと受けとめ、わたしたちが自分のことをダメだと思ったり、嫌いになったりしないような接し方をしてください。
- わたしたちの名前を呼び捨てにせず、愛をこめて呼んでください。
- わたしたちは、温かい雰囲気の中かで安心して育ちたいと思っています。わたしたちの周りは、いつも笑顔があふれているようにしてください。
- わたしたちが泣いていたら、そばに来て、まず抱いてください。そして、泣いているわたしたちの思いをしっかりと受けとめてください。
- わたしたちに関わる時は、乱暴にしないで丁寧にやさしく接してください。
- わたしたちと一緒に歌を歌ったり、絵を描いたり、楽しくいっぱい遊んでください。
- わたしたちのしたくないことを無理にさせないでください。
- わたしたちは、まだ、してよいこと、してはいけないことがわかりません。また、何度も同じ失敗をしてしまいます。大きな声で怒ったり、叩いたりしないで、わからないかもしれないけど、少しずつくり返し理解できるように教えてください。
- わたしたちに離れたところから、ことばだけで命令したり、あなたの都合で「早く～しなさい」と急がせたりしないでください。また、あなたの思い通りに行動しないからといって叱らないでください。

3. わたしたちのお父さんお母さんのことについてお願い します

- わたしたちのお父さんやお母さんの肌、目、髪の色や生まれた場所、障害があること、また、物の見方や考え方、宗教などで偏見をもたないでください。
- わたしたちのお父さんやお母さんの中には、小さいときから温かい家庭で育つことができなかつたり、上手く人間関係がつくれなかつたり、辛い思いをしながら必死で生きてきた人もいます。だから、わたしたちとどう関わっていいかわからないことも多いです。あせらずにゆっくりとわたしたちのことが大切に思えるように助けてください。
- わたしたちのお父さんやお母さんは、いつもわたしたちと一緒にいたいと思っています。その気持ちを、まず受けとめてください。そして、わたしたちのことを知りたいと思う気持ちや会いたいと思う気持ちを大事にして、安心できるように様子を伝えてください。
- わたしたちのお父さんやお母さんは、わたしたちのことを思い、精一杯がんばって暮らしています。それを認めて、声に出して評価してください。
- わたしたちのお父さんやお母さんが、あなたの考える父親や母親のイメージと違っているからといって、お父さんやお母さんの立場や気持ちを考えずに、こうあるべきだと言ったりせず、何があってもまず受けとめてください。
- わたしたちのお父さんやお母さんが、わたしたちを預け、離れて暮らす辛い気持ちを、お父さんやお母さんの周りの人にわかってもらってください。

- わたしたちは、目に見える変化をしていないときでも、目に見えないところで大切な積みかさねの作業をしています。その時期も温かくしっかり見守ってください。そして、新しいことができるようになったときは、一緒に喜んでください。
- わたしたちと話しをするときは、「～したい」「～できるんだ」と力が湧くように言ってください。
- わたしたちが植物や動物とふれあう喜びを感じられるようにしてください。
- わたしたちがお家で育つ子と同じように、できるだけ多くの生活経験や社会経験ができるようにしてください。
- わたしたちの大好きなお父さんやお母さんのことを、わたしたちの前で悪く言わないでください。わたしたちが、今まで以上にお父さんやお母さんのことが好きになれるようにいっぱいお話しをしてください。
- わたしたちのお父さんやお母さんにとって、わたしたちのいない生活があたり前にならないように、こまめにわたしたちの様子を知らせてください。
- わたしたちのお父さんやお母さんが、わたしたちに会いに度々来てくれたり、外出や外泊をさせてくれるように働きかけてください。
- わたしたちが、お父さんを困らせ試すことは、新たな親子関係をつくるためにとっても大切だということを、お父さんやお母さんにしっかりわかってもらってください。
- わたしたちがここにきた理由を他の人に話さないでください。



- わたしたちのお父さんやお母さんが、わたしたちと一緒に暮らせるようになるまでに、不安なことが少しでも減るように、どんな相談にも気軽に応じてください。また、わたしたちと一緒に暮らすようになってからも、困ったことがあったら、いつでも相談ののってください。
- わたしたちのお父さんやお母さんが、他のお父さんやお母さんとお互いに励ましあえるよう、交流できる場を作ってください。
- わたしたちのお父さんやお母さんのことについて、他の人に知られることがないようにしてください。

4. わたしたちのかわりにお願いしてください

- 子どものことで困ったことがあったとき、どこに相談したらよいかわからない人がいます。乳児院のことをもっと多くの人に知らせ、利用しやすいようにしてください。
- わたしたち、一人ひとりが大切にされ、いろいろな経験ができるように、わたしたちに関わってくれる人を増やしてください。
- わたしたちのために、伸び伸びと生活できる場所を作ってください。また、病気や怪我をしたときに、ゆっくり安心して休める場所も作ってください。
- わたしたちと上手く関わらず、どうしてもよいかわからないお父さんやお母さんの心の援助をする仕組みを作ってください。

私たちは、この「乳児院 子ども権利ノート」を日々の処遇の方針として、よりよい養育を行っていきたいと考え、努力しています。

平成 19 年 5 月 17 日

神戸市乳児院連盟

御影乳児院

神戸少年の町乳児院

真生乳児院



